

24年 A

問一 ① 指摘 ② 留意 ③ 変貌 ④ 昨今 ⑤ 否応 ⑥ 既存 ⑦ ゆる ⑧ さ  
ずけ ⑨ 疲弊 ⑩ 怠惰

問二 a ウ b エ c カ d コ e ク 問三 I オ II ク III ア IV ケ V ウ

問四 一極集中型のコミュニケーション様式 問五 不 問六 イ 問七 しがら  
み

問八 E 嫌って避けられること

F 気がふさいで晴れ晴れしない / 煩わしい

I からかうこと

J 物事に正面から対処しないで、皮肉やからかい、遊びが混じった態度で臨  
むこと

K 禁じられていること

問九 人間関係を保証する制度的な枠組みが共通の基盤ではなくなり、関係の自  
由度は高まったが不安定になり、一人で生きていく結果として、自分が相手から選  
んでもらえなかったり、組織に包摂されていないことを意味するから。

問十 人間関係

問十一 社会という抽象的な他者が失われて失われて、周囲の具体的な他者の評  
価が前面に出て、その基準が場の空気次第で揺れ動くので、その都度その都度相手  
の反応を探り合う必要があるという、人間関係に対して過剰なほど気遣いを示  
すという環境。